

令和2年度 学校評価計画表

教育目標		○「明るく、強く、美しく」生きぬく人間づくり ○ 児童生徒の自立と社会参加を目指した生きる力の育成				総合評価	
運営方針		様々な取組の目的や想いを再確認し、必要に応じて見直しや改善を図る		・教職員一人一人が学校経営の参画者であるとの意識を高める			
令和元年度の成果と課題		・学部や分掌(部)をより組織的に機能させるとともに、相互の一層の連携を図る		・特に小中高の一貫した専門性の高い肢体不自由教育を目指す			
令和元年度の重点目標		具体的目標					
<成果> ・継続して取り組んできた授業づくり研修と授業支援や授業会議がリンクし、本校のカリキュラムマネジメントをすすめることができた。 ・キャリア教育の視点を踏まえた授業改善シートの活用や、学部ごとに事例検討を行い、全体研修に生かすことができた。 ・クラス、保健スタッフ、自立活動担当等が朝のカンファレンスを継続することで、児童生徒の異常の早期発見につながった。 ・ヒヤリハットのデータベース化により、発生場所や内容が明確になった。 <課題> ・ヒヤリハットデータベースを有効に活用し再発防止に努める。 ・センター的役割として各市町村の教育支援委員会等に参加し、インクルーシブ教育の充実、適正就学をすすめる。 ・個別の指導計画および個別の教育支援計画を保護者と連携して作成し、本校の教育内容を理解いただく。 ・近肢研夏季研修会、全病連奈良大会、全肢頭の準備、実施。	1	児童生徒個々の目標を共有し、より良い授業づくりや授業改善を推進する。	①実態に即した授業づくりや授業改善、学習評価の実施 ②実態に応じた教育課程による系統的な指導 ③肢体不自由教育・病弱教育の専門的指導力の向上 ④個別の教育支援計画の充実及び指導計画の円滑な運用 ⑤肢病併置校の特性を生かした生徒の自主的活動の促進				
	2	児童生徒の自立や社会参加に向け、発達段階や障害の状況に応じて継続的な取組を推進する。	①キャリア教育の理解と推進 ②進路学習や進路体験学習の充実 ③障害者スポーツ大会等への積極的な参加の推進 ④保護者、地域等との連携強化 ⑤共生社会の実現に向けた取組の推進				
	3	医療機関等との連携を強化し、児童生徒の健康状態の保持・改善を図る。	①児童生徒の体調変化への適切な対応 ②教職員の医療的ケアのスキル向上及び医療機関等との連携を強化 ③専門医等との連携強化及び教育内容・環境の充実 ④教職員の緊急時対応のスキル向上				
	4	児童生徒の実態に応じた教育環境づくりと完全安心の確保に向けた取組を推進する。	①安全でわかりやすい環境整備 ②災害時備蓄品(医療的ケア物品・常備薬等)の整理 ③災害等に対する意識や対応力の向上 ④スクールバス安全運行及び緊急時対応スキルの向上				
	5	特別支援教育のセンター的役割を果たすとともに、インクルーシブ教育の推進に寄与する。	①就学に向けた積極的な情報提供 ②障害者理解の推進 ③肢体不自由教育や病弱教育のセンター的役割強化 ④地域等への積極的な情報発信				
	6	効果的・組織的に業務を推進するとともに、教職員の人権・個人情報保護等に対する意識の向上を図る。	①日常業務等の効率化 ②教職員の個人情報やプライバシー保護及び人権意識の向上 ③児童生徒の自尊感情の醸成 ④各種のハラスメントの防止 ⑤積極的な学校改善の推進				
評価項目	具体的目標		具体方策・評価指標	自己評価結果	成果と課題(評価結果の分析)	改善方策等	学校関係者評価及び分析
授業づくり・授業改善	①	実態に即した授業づくりや授業改善、学習評価の実施	積極的な授業支援の実施 :(日誌・教本部)				
			事例検討会の実施 :(教本部・各学部)				
	②	実態に応じた教育課程による系統的な指導	課題共有のための支援会議の実施 :(訪問)				
			複数訪問の実施 :(訪問)				
			実情を踏まえた教育課程編成・検討 :(教務部)				
			学級・授業会議をとおし、課題共有 :(小学部)				
③	肢体不自由教育・病弱教育の専門的指導力の向上	学級・授業会議をとおし、課題共有 :(中学部)					
		学級・授業会議をとおし、課題共有 :(高等部)					
④	個別の教育支援計画の充実及び指導計画の円滑な運用	インタレスト研修、自主研修の実施 :(日誌・教本部)					
		支援会議を年4回開催 :(自活部)					
		授業改善に向けた運用とシステムの充実 :(教務部)					
⑤	肢病併置校の特性を生かした生徒の自主的活動の促進	健康面からの課題を支援計画に反映 :(健安部)					
		生徒の実態に応じた自主的活動の学習内容の工夫・充実 :(高等部)					
児童生徒の自立と社会参加	①	キャリア教育の理解と推進	教員研修の促進 :(教本部・教本部)				
			教員・保護者対象の進路研修の実施 :(小学部)				
			児童生徒会活動の活性化 :(特活部)				
			児童生徒個々の目標設定の促進 :(進路部)				
			市町村・事業所等の情報を各学部へ提供・共有 :(進路部)				
	②	進路学習や進路体験学習の充実	進路指導計画の作成 :(高等部)				
			総合的な学習の時間・HRの有効活用 :(高等部)				
			学習成果発表の機会の促進 :(特活部・進路部)				
			卒業後の生活に向けた支援体験学習の実施 :(中学部)				
	③	障害者スポーツ大会等への積極的な参加の推進	各種スポーツの体験及び機会の促進 :(体安部)				
	④	保護者、地域等との連携強化	市町村・事業所等との連携強化 :(支援部)				
			「からだ楽々学習会」(夏期集中学習会)の2日実施 :(自活部)				
			保護者・支援者対象の学習会の実施 :(自活部)				
	⑤	共生社会の実現に向けた取組の推進	学校間交流の推進 :(小学部)				
学校間交流の推進 :(中学部)							
学校間交流の推進 :(高等部)							
居住地校交流の促進 :(教本部)							

児童生徒の健康状態の保持・改善	① 児童生徒の体調変化への適切な対応	主観的見方・客観的データの相関を検討	(健安部)				
		保健スタッフとの連携及び呼吸・排痰支援の実施	(自活部)				
		医ケア委員会・学校保健委員会との連携による健康維持・向上	(健安部)				
		自立活動部、健康安全部と連携し健康意地につとめる	(健安部)				
	② 教職員の医療的ケアのスキル向上及び医療機関等との連携を強化	経年数別医療的ケア研修の実施	(健安部)				
		宿泊を伴う活動への看護師派遣の調整・実施	(健安部)				
	③ 専門医等との連携強化及び教育内容・環境の充実	主治医懇談会の実施	(健安部)				
		事業所との連携	(健安部)				
		学期に1回健康相談会の実施	(健安部)				
		整形外科相談の実施	(自活部)				
		整形外科・療法士と学校との情報共有・連携強化	(自活部)				
		精神科医個別相談の実施	(健安部)				
	④ 教職員の緊急時対応のスキル向上	車いす業者により点検・調整の実施	(自活部)				
		緊急シミュレーションの実施	(健安部)				
		車いす業者により点検・調整の実施	(自活部)				
		必要に応じてケース会議の実施	(病弱部)				
教育環境づくりと安全安心の確保	① 安全でわかりやすい環境整備	緊急シミュレーションの実施	(健安部)				
		救命救急講習の実施	(健安部)				
		ヒヤリハット・アクシデント報告の徹底及び迅速なフィードバック	(健安部)				
		ICT・ATの充実	(教企部)				
		校内のわかりやすい環境整備の推進	(教企部)				
	② 災害時備蓄品(医療的ケア物品・常備薬等)の整理	継続的な環境美化の推進	(体安部)				
		継続的な施設点検の実施	(体安部)				
	③ 災害等に対する意識や対応力の向上	プール学習の安全・円滑実施と機器管理	(体安部)				
		教材・教具の整備点検の実施	(特活部)				
	④ スクールバス安全運行及び緊急時対応スキルの向上	常備薬・必要物品の計画的整備の参画	(健安部)				
		医療的ケア物品の計画的整備の推進	(健安部)				
	センター的役割とインクルーシブ教育の推進	① 就学に向けた積極的な情報提供	災害等に対するマニュアルの周知徹底及び対応訓練の実施	(体安部)			
			地域関係機関(消防所・保健所等)との連携	(訪問)			
			月1回打合会を実施し、スクールバス介助員への緊急対応等の周知	(健安部)			
		② 障害者理解の推進	スクールバス内でのヒヤリハット・アクシデント報告の周知	(健安部)			
			学校見学会等を通じ、就学前保護者への情報提供	(支援部)			
③ 肢体不自由教育や病弱教育のセンター的役割強化	④ 保護者・地域等への積極的な情報発信	特別支援研修会の実施をとおし、専門的教育のスキルアップを推進	(支援部・教企部)				
		「動作・身体に関する相談会」「教育相談会」を実施し、手技等の伝達	(自活部)				
		奈病連等の開催	(病弱部)				
		低高別通信・グループ別通信の発行	(小学部)				
	⑤ 積極的な学校改善の推進	学部通信の発行	(中学部)				
学部通信の発行		(高等部)					
文化的行事の地域への公開実施		(特活部)					
校務支援システムや情報機器の有効活用		(総務部・教務部)					
情報管理の徹底		(総務部)					
効率的・組織的な業務運営と人権等の意識向上	① PTA活動の充実	「児童生徒が主体となるよりよい支援」研修の実施	(教企部)				
		定期的な状況確認	(学友衛安)				
	② 同窓会活動の充実支援	各行事後の保護者アンケートの実施	(各部)				
		学校ランドデザインの作成	(運営委)				
		R3全病連に向けた体制整備及び奈良義護との連携	(総務部・病弱部)				
PTA・同窓会の活性化	PTA活動の充実	PTA活動の教職員への周知	(総務部)				
		同窓会総会の運営支援	(総務部)				